

制定日 2016年4月1日

Safety Data Sheet
安全性データシート

株式会社コベルコ科研
兵庫県高砂市荒井町新浜 2 丁目 3-1
担当部門 ターゲット事業本部技術部
電話番号 079-445-9024
FAX 番号 079-445-9025
緊急連絡先 同上

1. 品名

酸化ガリウム(Ga₂O₃)

2. 危険有害性の要約

GHS分類	項 目	Ga ₂ O ₃
物理化学的 危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対す る有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入・ガス)	分類対象外
	急性毒性(吸入・蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入・粉塵)	分類できない
	急性毒性(吸入・ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対す る有害性	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない
ラベル要素	絵表示又はシンボル	----
	注意喚起語	----
	危険有害性情報	ほとんど毒性はないが、吸入又は経口摂取すれば有害である。眼、粘膜に接触すると刺激作用がある。通常の取扱いでは、危険性は低い。

GHS分類	項目	Ga2O3
ラベル要素 (続き)	注意書き	<p>【安全対策】 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>【応急措置】 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>【保管】 直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い場所で施錠して保管すること。</p> <p>【廃棄】 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>
	国・地域情報:	-----

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別	単一物質
化学名	酸化ガリウム
化学式または構造式	Ga2O3
官報公示整理番号 (安衛法、化審法)	・酸化ガリウム : (1)-695 化審法
CAS番号	12024-21-4
国連分類および国連番号	-----

4. 応急措置

目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	付着または接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流し、速やかに医師の診察を受ける。
吸入した場合	直ちに被災者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、速やかに医師の診察を受ける。呼吸困難または呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。
飲み込んだ場合	意識があるときは吐かせて口の中を水でよく洗浄する。直ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の配置消火剤

消火剤	この製品自体は、燃焼しない。 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、散水 大火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、散水
火災時の特定危険有害性	火災によって刺激性、又は毒性のヒュームを発生するおそれがある。 消火活動中に煙を吸引しないようにする。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸装置、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終るまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を対比させる。
環境に対する注意事項:	漏出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和:	通気換気を十分に行い、はき集めて回収し、そのあとを雑巾、ウエス等でふき取る。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策:	情報が入手できません。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	技術的対策: 特別に技術的対策は必要としない。 注意事項: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や上記を発生させない。使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では、飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 安全取扱い注意事項: 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
貯蔵	技術的対策: 特別に技術的対策は必要としない。 混触危険物質: データなし 適切な保管条件: 直射日光を避け、換気の良いなるべく涼しい場所に密閉して保管する。 安全な容器包装材料: ガラス

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	-----
許容濃度	日本産業衛生学会 設定されていない。 OSHA PEL: 設定されていない。 ACGIH TLV(s): 設定されていない。
設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	呼吸用保護具: 呼吸保護具の使用の要求される環境下では、呼吸保護具を着用する。
	保護眼鏡: 適当な保護眼鏡もしくは安全眼鏡を着用する。
	保護手袋: 皮膚の露出を防ぐために適当な手袋を着用する。
	保護衣: 皮膚の露出を防ぐために適当な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	白色結晶
沸点: °C	情報が入手できません。
蒸気圧: Pa (20°C)	情報が入手できません。
揮発性	情報が入手できません。
融点: °C	1900°C, alpha 1725°C, beta
比重または嵩比重	6.44 g/cm ³ , alpha 5.88 g/cm ³ , beta
溶解度	水% (°C) : 不溶、その他の溶媒% (°C) : ほとんどの酸に可溶
その他	-----

10. 安定性及び反応性

引火点:℃	情報が入手できません。
発火点:℃	情報が入手できません。
爆発限界:上眼% 下眼%	情報が入手できません。
可燃性	情報が入手できません。
発火性(自然発火性・ 水との反応性)	情報が入手できません。
酸化性	情報が入手できません。
自己反応性・爆発性	情報が入手できません。
粉じん爆発性	情報が入手できません。
安定性・反応性	情報が入手できません。
その他	-----

11. 有害性情報

腐食性	情報が入手できません。
刺激性(皮膚、眼)	情報が入手できません。
感作性	情報が入手できません。
急性毒性 (50%致死量を含む)	経口:ラット LD50 10g/kg より区分外 吸入: 情報不足。 経皮:情報が入手できません。
亜急性毒性	情報が入手できません。
慢性毒性	情報が入手できません。
がん原性	情報が入手できません。
変異原性 (微生物、染色体異)	情報が入手できません。
生殖毒性	情報が入手できません。
催奇毒性	情報が入手できません。
その他(水と反応して有害 なガスを発生する等を含 む)	情報が入手できません。
特定標的臓器・全身毒 性(単回暴露)	情報が入手できません。
特定標的臓器・全身毒 性 (反復暴露)	情報が入手できません。
吸引性呼吸器有害性	情報が入手できません。

12. 環境影響情報

情報が入手できません。

13. 廃棄上の注意

再利用のため回収します。

14. 輸送上の注意

割れやすいので落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
労働基準法	特定できず
毒物及び劇物取締法	特定できず
消防法	特定できず
危険物船舶運送及び貯蔵規則	特定できず
PRTR法	非該当

16. その他

その他 (記載内容の 問い合わせ先、 引用文献 等)	記載内容の問い合わせ先	株式会社コベルコ科研
	引用文献	<ul style="list-style-type: none"> • ACGIH発行TLV_s[®] and BEI_s[®]2009 • 厚生労働省:職場の安全サイト http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx • 安全衛生情報センター http://www.jaish.gr.jp/ http://www.nihs.go.jp/ICSC/ 他
	改訂履歴	Rev.0:新規制定

* 危険・有害性の情報は十分ではありません。また、本文書は安全の保証書ではありません